

(別紙5)

補助事業番号 27-2-005
補助事業名 平成27年度 子どもが幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人日本子守唄協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

子育て支援が社会的課題となり関心を持つ人々が増えることにより、子育て中の親に対する様々な支援が必要とされている。全国の都道府県で定期的に活動が開催されることにより、多くの人々が子育てを応援することで子どもが幸せに暮らせる社会を創る活動に寄与する。

(2) 実施内容

- ①岩手県岩手町 スポーツ文化センター 森のアリーナ
～平成27年度子どもが幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業～
日本のこころのうた 子守唄と朗読のつどい



<http://www.komoriuta.jp/ar/A15101502.html>

第一部 「朗読：猫の話」

常田富士男さんによる朗読。最初に挨拶代わりとして、宮沢賢治の「雨ニモマケズ」を会場の皆さんと一緒に読み上げました。続いて、「猫の話」と題して猫貸し屋のお話をして下しました。猫貸しの衣装を身に纏い、小道具なども駆使してのステージ。一気にその世界観に引き込まれました。物悲しいけれど、なんだか心がほっこりするお話でした。

第二部 「コンサート」

(別紙5)

歌を中心に、皆さんとコミュニケーションを取りながら
楽しみました。

西館理事長が皆さんに語りかけるように、歌の解説や歌をうたうこと・うたってあげることの大切さを話して下さいました。子守唄はもちろんのこと遊び歌や童謡など様々な曲を、久保祐子さんの素敵なピアノ演奏にのせて稲村なおこさんが歌って下さいました。会場の皆さんも一緒になって体を動かしたり、歌ったりと大いに盛り上がりました。

②北海道札幌市 時計台2階ホール

～平成27年度子どもが幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業～
子守唄コンサートin札幌 ～伝えよう親と子のふれあい～



<http://www.komoriuta.jp/ar/A15091101.html>

第一部 講演「子守唄の音楽と力」

日本子守唄協会会長 湯川れい子より子守唄の力と音楽の力についてお話をいただきました。

第二部 「子守唄ミニコンサート」

つづいて、SSMゴスペルアンサンブルによる歌が披露されました。会場からは手拍子が聞こえてくるなど、大いに盛り上がりました。最後は皆さんと一緒に「ゆりかごの歌」をうたいました。

(別紙5)

③石川県金沢市 北國新聞社20階ホール

～平成27年度子どもが幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業～

「日本の親子の絆プロジェクト2015 ～伝承唄で生きる親の心～」



<http://www.komoriuta.jp/ar/A15102201.html>

第一部 「北陸どしゃどしゃ」

開演の先立ちまして日本子守唄協会理事長の西館好子さんがご挨拶申し上げました。各部の冒頭では出演者の皆さんと西館理事長が文化をどう守り伝えていくのか、伝承していくことの大切さなどを話してくださいました。

本條秀太郎さん、本條秀五郎さん、鼓友緑佳さんによるステージ。本條秀太郎さんが曲の解説をしながら「江戸の子守唄」をはじめ、各地に伝わる民謡や子守唄を歌ってください、普段あまり聴くことのない曲にも触れることができました。情緒溢れる演奏に聴き入りました。

第二部 「北陸ふるさと親子旅」

加賀山昭さん、加賀山紋さん、加賀山昭輝さん親子によるステージ。故郷である石川や北陸の民謡を中心に披露してください、力強い歌声が会場に響き渡りました。面白おかしいトークでは、会場がドッと沸きました。

ステージが終わると、とても素敵なサプライズが。急遽お客様の一人がハーモニカを吹いて下さり、会場の皆さんとその音色に合わせて「ふるさと」を合唱しました。突然の出来事でしたが、とても温かな雰囲気にもまれながら幕を閉じた会となりました。

④東京都千代田区立内幸町ホール

～平成27年度子どもが幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業～

「あなたに届けよう私の歌 ～日本子守唄協会教室から～」

(別紙5)



<http://www.komoriuta.jp/ar/A15121601.html>

第一部

オープニングは関東民放クラブウクレレ同好会の皆さまによるハワイアン演奏。美声と共にウクレレ演奏を楽しみました。つづいて、楽しいウクレレ教室の皆さん、ハーモニカ教室の皆さん。そして応援隊の皆さまによる演奏です。初めての発表会に皆さん緊張気味でしたが、とても上手に演奏できました。

第二部

原莊介とアリエントの皆さん。さまざまな地域の子守唄をうたってくださいました。子守唄のトーク。原先生、壽孝先生、清水先生それぞれにある心のふるさについてお話をいただきました。唄い継ごう 子守唄・童謡・唱歌の皆さまによる大合唱。山口先生ご指導の下、会場の皆さまも元気いっぱいにうたいました。最後は、会場の皆さまと一緒に故郷をうたいました。

⑤富山県富山市 富山国際会議場メインホール

～平成27年度子どもが幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業～
「とやま子守唄フェスタ2016」



<http://www.komoriuta.jp/ar/A16030702.html>

第一部 「日本の唄・故郷の唄」

オープニングを飾ってくれたのは、歌の大好きな富山市婦中地区の小中学生で結成されている少年少女合唱団「サンフラワー」の皆さん。素敵なハーモニーが響き渡りました。レインボー・カルテットによるコンサート。子守唄をはじめお母さんの歌・もう少しで東日本大震災から5年ということで、震災にまつわる曲目なども披露。会場の皆さんと一緒に掛け合いをしながら歌いました。会場が一体となって楽しめ、温かな雰囲気になりました。

第二部 「唄い継ぎたい日本の調べ」

2代目高橋竹山さんと小田朋美さんによるステージ。冒頭では、西館理事長も含めた3人でのお話。初代の竹山さんの津軽三味線に魅せられて津軽まで行ったお話や、竹山さんと小田さんが一緒に仕事をするようになったきっかけなどを伺うことができました。津軽三味線とピアノのコラボレーションはとても新鮮で、こんなにも洋と和の楽器が合うものなのかと驚かされました。また披露された子守唄もいつも聴く曲調とは異なり、お二方にしかできないものだと感じました。会場は拍手喝采となりました。最後は、ここ富山でできた子守唄2曲を会場の皆さんと一緒に歌い、盛会のうちに幕を閉じました

2 予想される事業実施効果

参加者からの感想として、子育て支援活動を更に広めていきたいという、積極的なお話もいただいた。活動を推進していく協力体制の基盤づくりに努めると同時に、参加していただいた10代から70代までの幅広い年齢層が、このような開催に支持と共感を受けていることからより地域に密着した活動を展開できる可能性がでてきた。子育てに従事している保護者のみならず、これからの母親予備軍である若者たち、豊富な経験を持つ高齢者など世代を超えたネットワークを構築することにより、地域社会全体のコミュニケーション形成や少子化対策にも寄与するものとする。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

北海道札幌市 時計台2階ホール チラシ

北海道札幌市 時計台2階ホール チケット

<http://www.komoriuta.jp/ar/A15091101.html> (URL)

東京都千代田区立内幸町ホール チラシ

東京都千代田区立内幸町ホール チケット

(別紙5)

<http://www.komoriuta.jp/ar/A16021801.html> (URL)

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
特になし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 特定非営利活動法人日本子守唄協会 (ニホンコモリウタキョウカイ)

住 所 : 〒111-0052

東京都台東区柳橋1-1-15 浅草橋産業会館302号室

代 表 者 : 理事長 西館好子 (ニシダテヨシコ)

担 当 部 署 : 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名 : 事務局長 岩倉栄一 (イワクラエイイチ)

電 話 番 号 : 03-3861-9417

F A X : 03-3861-9418

E - m a i l : info@komoriuta.jp

U R L : <http://www.komoriuta.jp/cover.html>